



園内・園外の環境を生かして

副園長 野本 和美

もうすぐやってくる梅雨の前に、子どもたちは様々な場所に遠足や散歩に行っています。日差しを浴びたり、風を感じたり、道端や公園内の植物を見たり…爽やかな気候の中、自然をたっぷり味わう心地よさを感じています。

柳町こどもの森では、毎年、研究テーマを決めて園内研究を行っています。今年度のテーマは「体を動かして遊ぶことを楽しもう！～保育者の援助や環境構成の工夫～」です。柳町こどもの森は、今、園庭工事中です。その状況の中でも、保育者全員で、子どもたちが体を動かすことを楽しめるようにしたい、そのための援助や環境を工夫していきたい、と強く思ったからこそ、このテーマになりました。この2カ月の間に様々な工夫をしました。「みんなの広場」では、今まで、使う度に保育者が押し入れから出していた運動遊具を外に出し、子どもたちが自分で使えるようにしました。扱いやすくなったことで、遊びの中で体を動かす遊びをすることが増え、主体的に運動遊びを楽しむ姿につながっています。風を感じることができる2階の「テラス」では、一輪車や竹馬を常時使えるようにしました。“ミニ園庭”として子どもたちがテラスに行く機会が増え、運動遊びやままごと遊び、色水など、テラスでの遊びが広がってきています。併せて、今年度5歳児は元町幼稚園と千駄木幼稚園に行き、広い園庭で伸び伸びと遊んだり、砂場で裸足になってダイナミックに遊んだりする機会を作っていきます。まだまだ、様々な工夫の余地がありそうです。

これからも保育者全員で知恵を出し合い、園内・園外の環境の生かし方を考え、利用していくことで、幼児が体を動かして遊ぶことを楽しめるようにしていきます。

